

# 事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化を目的とした整備事業）

（都道府県名：青森県）

（青森県 平成21年度）

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜種等名)①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
							計画時 (平成17年度)	1年後(平成18年度)	2年後(平成19年度)	3年後(平成20年度)	目標値(平成20年度)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
							西目屋村	西目屋村			土地利用型(水稻)	品質向上				品質分析の実施者の割合が50%以上	55戸 72.4%	57戸/71戸 80.3%	49戸/53戸 92.5%				
十和田市	全農青森県本部			野菜(ごぼう、長芋、にんにく)	需要に応じた生産量の確保	全出荷量のうち契約割合が5%以上	ごぼう 31%	ごぼう 34%	ごぼう 41%	ごぼう 33%	ごぼう 35%	ごぼう 50%	ごぼうでは目標を達成できなかった。ながいもは200%、にんにくは200%と目標を上回った。	農産物処理加工施設(野菜パッケージセンター)	231,987,000	110,470,000	0	0	121,517,000	H19.2.15	ごぼうは景気低迷等の影響で目標を達成できなかった。しかし、ながいも、にんにくは目標を上回った。	農産物処理加工施設(野菜パッケージセンター)を導入したことで、契約取引が増加した。しかしながら、20年度のごぼうについては量販店における生食用の需要が大幅に伸びたことから、業務用の契約取引を伸ばすことができなかった。一方ながいも・にんにくの契約取引割合は目標を上回った。今後は、市場経由による契約販売の拡大や加工・業務用の契約条件(価格設定、支払体系)の見直し及び新たな取引先の開拓などを行うとされていることから、当県として改善指導を行っていく。	
三沢市、六戸町	おいらせ農業協同組合		産地競争力の強化	輸入急増野菜(にんにく)	輸入急増農産物における国産の奪回	10a当たり労働時間の削減5%以上	217.9hr	193.5hr	193.3hr	191.7hr	191.7hr	100%	労働時間が削減され目標が達成された。	にんにく収穫機28台	68,502,000	32,620,000	0	0	35,882,000	H18.7.10	労働時間の短縮が図られ、労働生産性が向上した。	労働時間の短縮が図られ、成果目標が達成された。	
七戸町	天間林地区にんにく収穫機運営協議会			輸入急増野菜(にんにく)	輸入急増農産物における国産の奪回	10a当たり労働時間の削減5%以上	217.9hr	205hr	201.5hr	195hr	191.7hr	87%	労働時間は大幅に削減されたものの、目標は達成されなかった。	にんにく収穫機2台	4,893,000	2,446,000	0	0	2,447,000	H18.6.23	労働時間削減の目標は達成できなかったものの、雇用費の削減が図られた。	収穫機の導入により、労働時間は確実に減少している。しかしながら、20年度は収穫期に雨が多く、一部ほ場で機械作業ができなかったこと、病気による茎葉の枯れなどから機械の掘り残しが発生したこと等により、やむなく人力作業の必要が生じたため、目標達成には至らなかった。今後、適期刈取りを励行し、目標達成は可能と思われるので、改善状況を見ながら指導していく。	
五戸町、新郷村	五戸地方にんにく収穫機利用組合			輸入急増野菜(にんにく)	輸入急増農産物における国産の奪回	10a当たり労働時間の削減5%以上	217.9hr	193.8hr	194hr	194hr	191.7hr	91%	労働時間を11%削減できた	にんにく収穫機7台	17,125,500	8,562,000	0	0	8,563,500	H18.9.30	目標は達成できなかったが、労働時間が大幅に削減でき、事業効果は満足できる結果となった。	収穫機の導入により、労働時間は確実に減少している。しかしながら、20年度は収穫期に雨が多く、一部ほ場で機械作業ができなかったことから、やむなく人力作業の必要が生じたため、目標を達成できなかった。このような状況を踏まえ、今後は、機械作業が確実に行われるよう弾丸暗渠などの排水対策を図ることにより、目標達成は可能とおもわれるので、改善状況を報告させ、指導を行っていく。	

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜種等名)①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
							計画時 (平成17年度)	1年後(平成18年度)	2年後(平成19年度)	3年後(平成20年度)	目標値(平成20年度)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他					
田子町	田子町にんにく収穫機利用組合		産地競争力の強化に向けた総合的推進	輸入急増野菜(にんにくにく)	輸入急増農産物における国産野菜の毎回の割合	10a当たり労働時間の削減5%以上	212h r	187hr	187 h r	187hr	187hr	100%	10a当たり労働時間を現状から12%削減した。	にんにく収穫機3台	7,339,500	3,669,000	0	0	3,670,500	H18.6.20	労働時間が削減され成果目標を達成できた。	労働時間の短縮が図られ、成果目標が達成された。		
平川市	津軽みらい農業協同組合			果樹(りんご)	需要に応じた生産量の確保	【果樹】果樹の需要に応じた生産量の確保に関する目標(全出荷量のうち内部品質のうち内部品質に応じて出荷する割合が50%以上)	0%	100% 18,933 t	100% 20,655 t	100% 22,496	100% 19,369 t	100%	100%	平成20年度の出荷量22,496tのうち、内部品質センサー付き選果機2条3基)能力:10,800個/時間/1条	集出荷貯蔵施設(りんご用カラー内部品質センサー付き選果機2条3基)能力:10,800個/時間/1条	624,750,000	297,500,000		327,250,000	H19.3.27	選果時において内部障害果が排除できるため安心して消費地へりんご出荷することができるようになった。また、それと同時に市場の評価も高まった。	内部品質を保証することで市場での評価が高まるとともに、選果能力の向上により労働コスト削減にもつながったことから、選果機の導入効果は高いものと評価する。		
青森市	高田稲わら生産組合			飼料増産(稲わら)	生産性の向上	受益面積を1%以上増加	30ha	126ha	142ha	142ha	55ha	448.0%	448.0%	受益面積373%増加	稲わら収集機2台 デッカーレーキ1台 積み込み機1台	14,250,000	4,750,000	0	2,375,000	7,125,000	H18.9.9	目標を達成している	目標達成しており評価する	
つがる市	亀ヶ岡稲わら生産組合			飼料増産(稲わら)	生産性の向上	受益面積を1%以上増加	0ha	27.1ha	36.7ha	44.0ha	36ha	122.2%	122.2%	受益面積44ha増加	稲わら収集機1台 デッカーレーキ1台 積み込み機1台	11,109,000	3,703,000	0	0	7,406,000	H18.11.21	目標を達成している	目標達成しており評価する	
十和田市	豊川飼料生産振興組合			牧草稲わら繁殖牛	生産性の向上	受益面積を1%以上増加	37.5ha	40.4ha	41.8ha	47.0ha	41.3ha	250.0%	250.0%	受益面積25%増加	ロールベアラ1台 ラッピングマシン1台 積み込み機1台	4,504,500	1,500,000	0	0	3,004,500	H19.3.12	目標を達成している	目標達成しており評価する	
十和田市	十和田市			牧草稲わら繁殖牛	生産性の向上	受益面積を1%以上増加	83.3ha	83.3ha	101.8ha	107.2ha	100.0ha	143.1%	143.1%	受益面積28.7%増加	ラッピングマシン1台	1,869,000	623,000	0	1,246,000	0	H19.3.27	目標を達成している	目標達成しており評価する	